



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月7日

上場会社名 ユニチカ株式会社
コード番号 3103 URL <http://www.unitika.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 注連 浩行

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大西 正哲

TEL 06-6281-5721

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	31,382	0.3	3,388	7.4	3,078	88.0	2,470	107.4
29年3月期第1四半期	31,289	12.4	3,153	38.7	1,637	11.6	1,191	23.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 2,180百万円 (57.1%) 29年3月期第1四半期 1,388百万円 (0.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	4.11	2.47
29年3月期第1四半期	1.63	0.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	196,907	34,497	15.8
29年3月期	211,872	45,264	19.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 31,135百万円 29年3月期 41,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	63,500	1.5	5,500	12.3	4,800	16.1	3,700	3.2	6.07
通期	131,000	3.8	10,700	14.7	7,300	30.4	4,900	33.7	78.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成30年3月期連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	577,523,433 株	29年3月期	577,523,433 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	819,674 株	29年3月期	817,969 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	576,704,248 株	29年3月期1Q	576,717,677 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の業績予想)

当社は、平成29年6月29日の第207回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合することとしております。

なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の連結業績予想は以下のとおりとなります。

・平成30年3月期連結業績予想の1株当たり当期純利益 : 7円81銭

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	12,000.00	12,000.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		0.00	—	12,000.00	12,000.00
B種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	23,740.00	23,740.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		0.00	—	23,740.00	23,740.00
C種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	60,000.00	60,000.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		—	—	—	—

(注) 当社は平成29年6月30日をもって、発行済C種種類株式の全てを取得及び消却いたしました。
これにより、平成30年3月期以降、C種種類株式に係る配当金は発生いたしません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外では、地政学リスクの高まりや米国・欧州の政治動向など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、本年5月に公表しました新中期経営計画「“G” r o u n d 2 0 ～ t o T h e N e x t S t a g e (ジールラウンド・トゥエンティ～トゥザネクストステージ)」に掲げる3つの“G”(Growth、Global、Governance)の実現に努めてまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は31,382百万円(前年同四半期比0.3%増)、営業利益は3,388百万円(同7.4%増)、経常利益は3,078百万円(同88.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,470百万円(同107.4%増)となりました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

【高分子事業】

フィルム事業では、包装分野は、夏物商品用途などの国内販売が前期に引き続き好調に推移し、主にアジア向け輸出数量の増加ともあわせて、売上が増加しました。また、バリアナイロンフィルム「エンブレムHG」も順調に販売数量を伸ばしました。工業分野は、情報端末機器用途で需要が増加し、耐熱ポリアミドフィルム「ユニアミド」等の高付加価値品の販売も拡大しました。

樹脂事業では、汎用樹脂の販売は低調に推移しましたが、当社独自のポリアリレート樹脂「Uポリマー」は、海外向け情報端末機器用途で引き続き好調を維持しました。また、タイに設立しました合弁会社UNITIKA ADVANCE (THAILAND) CO., LTD. (ユニチカアドバンス(タイ))は、6月より営業を開始しました。

不織布事業では、ポリエステルспанボンドは、農業、産業資材、生活資材用途などで堅調でしたが、一部の用途では低調に推移しました。タイ子会社のTHAI UNITIKA SPUNBOND CO., LTD. (タスコ)では、増設した3号機稼動しました。コットンспанレースは、スキンケア用品等の生活資材用途で引き続き堅調に推移し、輸出数量も増加しました。

高分子事業全体では、原料価格の上昇などの影響により、収益は減少しました。

以上の結果、高分子事業の売上高は14,172百万円(前年同四半期比1.2%増)、営業利益は2,628百万円(同1.3%減)となりました。

【機能材事業】

ガラス繊維事業では、産業資材分野は、建築用途向けなどで販売が堅調に推移し、電子材料分野のICクロスは、情報端末機器用途での需要が回復し、堅調に推移しました。

ガラスビーズ事業では、ロードマーキング用途や反射材用途はやや低調に推移しましたが、工業用途はフィルターなどで引き続き好調を維持しました。

活性炭繊維事業では、主力の浄水器用途は、水栓一体型はやや低調も全般的には堅調に推移し、VOC除去用途や工業用フィルター用途などは前期に引き続き堅調に推移しました。

以上の結果、機能材事業の売上高は3,062百万円(同5.2%増)、営業利益は365百万円(同33.5%増)となりました。

【繊維事業】

産業繊維事業では、ポリエステル高強力糸は、土木用途で高付加価値品の販売が堅調に推移し、ポリエステル短繊維においても高付加価値品の販売が伸展したことにより、各々の計画を上回る収益を確保しました。

衣料繊維事業では、レディス分野はやや低調でしたが、ユニフォーム分野はワーキング用途を中心に好調に推移しました。海外では、デニムの需要は回復基調で推移しました。

以上の結果、繊維事業の売上高は13,121百万円(同3.4%減)、営業利益は450百万円(同22.0%増)となりました。

【その他】

その他の事業につきましては、売上高は1,026百万円(同28.6%増)、営業損失は62百万円(前年同四半期は146百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ14,965百万円減少し、196,907百万円となりました。これは、主として現金及び預金が減少したことによります。負債は、前連結会計年度末に比べ4,198百万円減少し、162,409百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が減少したことによります。純資産は、前連結会計年度末に比べ10,766百万円減少し、34,497百万円となりました。これは、主としてC種種類株式の取得及び消却により資本剰余金が減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成29年8月7日)公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,030	23,434
受取手形及び売掛金	34,116	32,463
たな卸資産	25,704	26,817
その他	4,833	3,938
貸倒引当金	△89	△86
流動資産合計	101,595	86,566
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	21,393	23,717
土地	66,496	66,495
その他(純額)	15,901	13,484
有形固定資産合計	103,791	103,698
無形固定資産		
その他	2,035	2,062
無形固定資産合計	2,035	2,062
投資その他の資産		
その他	4,477	4,604
貸倒引当金	△26	△23
投資その他の資産合計	4,450	4,580
固定資産合計	110,277	110,340
資産合計	211,872	196,907

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,506	15,871
短期借入金	3,438	3,093
1年内返済予定の長期借入金	2,756	2,767
未払法人税等	1,167	420
賞与引当金	1,451	796
製品改修引当金	1,670	1,425
事業構造改善引当金	152	116
独占禁止法関連損失引当金	980	980
その他	9,071	8,947
流動負債合計	38,194	34,418
固定負債		
長期借入金	103,132	102,310
役員退職慰労引当金	4	4
退職給付に係る負債	11,209	11,332
その他	14,067	14,343
固定負債合計	128,414	127,990
負債合計	166,608	162,409
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	28,400	16,451
利益剰余金	12,117	13,591
自己株式	△47	△47
株主資本合計	40,572	30,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	480	552
繰延ヘッジ損益	8	3
土地再評価差額金	6,415	6,415
為替換算調整勘定	△2,856	△3,238
退職給付に係る調整累計額	△2,779	△2,693
その他の包括利益累計額合計	1,269	1,039
非支配株主持分	3,422	3,362
純資産合計	45,264	34,497
負債純資産合計	211,872	196,907

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	31,289	31,382
売上原価	23,356	23,121
売上総利益	7,932	8,260
販売費及び一般管理費	4,778	4,872
営業利益	3,153	3,388
営業外収益		
受取利息	5	15
受取配当金	41	39
受取賃貸料	73	35
その他	184	172
営業外収益合計	305	263
営業外費用		
支払利息	539	357
持分法による投資損失	0	2
為替差損	1,084	—
その他	196	212
営業外費用合計	1,820	572
経常利益	1,637	3,078
特別利益		
固定資産売却益	61	131
特別利益合計	61	131
特別損失		
固定資産処分損	91	87
事業構造改善費用	101	38
その他	33	0
特別損失合計	225	126
税金等調整前四半期純利益	1,473	3,084
法人税、住民税及び事業税	118	237
法人税等調整額	115	368
法人税等合計	234	605
四半期純利益	1,239	2,479
非支配株主に帰属する四半期純利益	47	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,191	2,470

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	1,239	2,479
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	71
繰延ヘッジ損益	40	△5
土地再評価差額金	△41	—
為替換算調整勘定	6	△450
退職給付に係る調整額	93	85
その他の包括利益合計	149	△298
四半期包括利益	1,388	2,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,380	2,240
非支配株主に係る四半期包括利益	8	△60

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年3月21日開催の取締役会において、当社発行のC種種類株式の全部（発行総額100億円）につき、当社定款第13条の4第6項（金銭を対価とする取得条項）の規定に基づき金銭を対価として取得すること及び当該取得を条件として会社法第178条の規定に基づく消却を行うことを決議し、平成29年6月30日付で当該取得及び消却を完了いたしました。

(1) C種種類株式の取得の内容

- ①取得する株式の種類 C種種類株式
- ②取得の相手方(株主) ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ第老号投資事業有限責任組合
- ③取得する株式の総数 10,000株
- ④株式の取得価額 1株につき1,194,958.9円

注) 上記の株式の取得価額は、C種種類株式1株当たりの払込金額相当額（1,000,000円）に1.18を乗じて得られる額に、日割未払優先配当金額（14,958.9円）を加算し算出した額であります。

- ⑤株式の取得価額の総額 11,949,589,000円
- ⑥取得日 平成29年6月30日

(2) C種種類株式の消却の内容

- ①消却する株式の種類 C種種類株式
- ②消却する株式の総数 10,000株
- ③消却の効力発生日 平成29年6月30日

(3) 消却後の純資産への影響額

減少する資本剰余金の額 11,949,589,000円

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能材 事業	繊維 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,003	2,911	13,576	30,490	798	31,289	—	31,289
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,197	210	230	2,638	282	2,921	△2,921	—
計	16,200	3,121	13,807	33,129	1,080	34,210	△2,921	31,289
セグメント利益又は損失 (△)	2,661	273	369	3,304	△146	3,158	△4	3,153

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種プラントの設計施工及び整備保全等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能材 事業	繊維 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,172	3,062	13,121	30,356	1,026	31,382	—	31,382
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,347	227	199	2,774	294	3,069	△3,069	—
計	16,520	3,289	13,320	33,130	1,320	34,451	△3,069	31,382
セグメント利益又は損失 (△)	2,628	365	450	3,443	△62	3,381	6	3,388

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種プラントの設計施工及び整備保全等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。